

各 位

会社名： ポラリス・ホールディングス株式会社  
 代表者名： 代表取締役社長 田口 洋平  
 (コード番号:3010 東証スタンダード市場)  
 問合せ先： 取締役 兼 最高財務責任者 細野 敏  
 (TEL:03-5822-3010)

### ホテル運営状況に関するお知らせ(2025年7月度)

当社グループが運営するホテル(海外ホテル除く)の2025年7月度におけるホテル運営状況につき、宿泊部門の客室稼働率、ADR、RevPAR及びインバウンド比率を下記のとおりお知らせいたします。なお、過去の運営実績については当社ホームページ([https://www.polaris-holdings.com/ir\\_performance/](https://www.polaris-holdings.com/ir_performance/))をご参照ください。

記

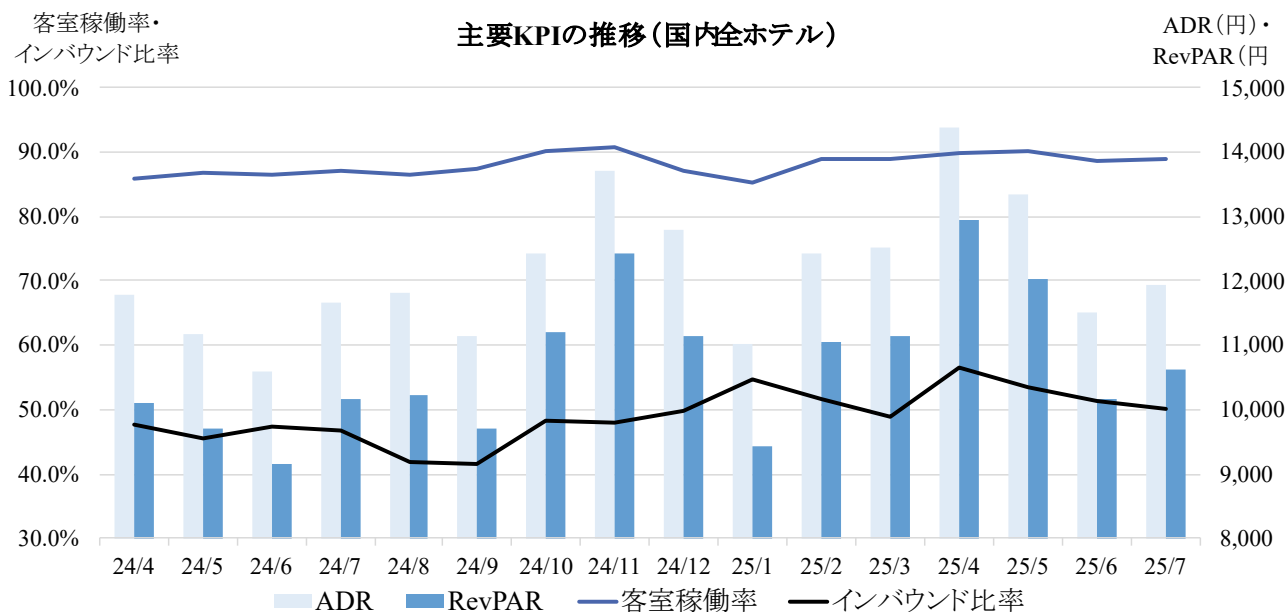
#### 1. 国内全ホテル

	当月	前年同月	増減数	増減率	当期累計	前期累計	増減数	増減率
	2025年7月	2024年7月			自 2025年4月 至 2025年7月	自 2024年4月 至 2024年7月		
全 66 ホテル								
客室稼働率	88.9%	87.0%	+1.8%		89.4%	86.5%	+2.9%	
ADR(円)	11,951	11,670	+281	+2.4%	12,805	11,304	+1,500	+13.3%
RevPAR(円)	10,621	10,158	+463	+4.6%	11,445	9,781	+1,664	+17.0%
インバウンド比率	50.0%	46.9%	+3.1%		52.8%	46.8%	+6.0%	

#### 2. 運営状況の概要

日本政府観光局公表の訪日外客統計資料によると、2025年7月の訪日外客数は前年同月比4.4%増の3,437,000人であり、7月としては過去最高を記録しました。中国、台湾、東南アジア及び欧米豪からの訪日外客数が前年同月比で増加を継続する一方で、日本で7月に災害が発生するという噂がSNS等で広く拡散されたアジアの一部の国からの訪日外客数が前年同月比で減少しました(韓国 10.4%減、香港 36.9%減等)。

このような状況の中、上述の一部の国からの訪日外客数の減少の影響を受け、関東及び九州エリアではRevPARは前年同月比で減少しました。なお、当該2エリアにおける8月以降の予約状況は回復傾向にあり、影響は一時的なものであると当社は分析しております。また、他エリアでの影響は限定的であり、特に近畿エリアでは「EXPO 2025 大阪・関西万博」開催による宿泊需要を捉えて効果的なレベニューマネジメントを実施したことで、RevPARは前年同月比で23.8%と大幅な増加を実現しております。こうした、ポートフォリオの地域分散効果により、当社グループが運営する国内全ホテルのインバウンド比率は3.1%上昇し、RevPARは前年同月比で4.6%増加いたしました。



### 3. 国内ホテル エリア別

	当月	前年同月	増減数	増減率	当期累計	前期累計	増減数	増減率
	2025年7月	2024年7月			自 2025年4月 至 2025年7月	自 2024年4月 至 2024年7月		
<b>北海道 (7 ホテル)</b>								
客室稼働率	95.5%	95.2%	+0.3%		89.9%	86.1%	+3.9%	
ADR(円)	15,204	13,279	+1,926	+14.5%	11,185	9,517	+1,667	+17.5%
RevPAR(円)	14,526	12,641	+1,885	+14.9%	10,057	8,190	+1,867	+22.8%
インバウンド比率	35.0%	28.2%	+6.8%		29.3%	24.0%	+5.3%	
<b>東北・北陸信越 (6 ホテル)</b>								
客室稼働率	86.7%	87.2%	-0.5%		88.0%	87.2%	+0.9%	
ADR(円)	8,922	8,654	+268	+3.1%	9,028	8,885	+143	+1.6%
RevPAR(円)	7,735	7,545	+190	+2.5%	7,949	7,747	+202	+2.6%
インバウンド比率	23.0%	19.3%	+3.7%		28.8%	22.4%	+6.5%	
<b>関東 (18 ホテル)</b>								
客室稼働率	94.9%	93.8%	+1.1%		95.2%	94.6%	+0.6%	
ADR(円)	14,672	15,745	-1,073	-6.8%	18,259	16,574	+1,684	+10.2%
RevPAR(円)	13,930	14,774	-844	-5.7%	17,386	15,676	+1,710	+10.9%
インバウンド比率	71.9%	66.9%	+5.0%		74.2%	67.0%	+7.1%	
<b>中部 (6 ホテル)</b>								
客室稼働率	86.2%	76.9%	+9.4%		86.1%	78.8%	+7.3%	
ADR(円)	8,369	8,135	+234	+2.9%	9,556	8,215	+1,341	+16.3%
RevPAR(円)	7,216	6,252	+964	+15.4%	8,225	6,472	+1,753	+27.1%
インバウンド比率	47.4%	43.2%	+4.2%		52.4%	39.9%	+12.5%	
<b>近畿 (15 ホテル)</b>								
客室稼働率	88.5%	84.9%	+3.6%		90.1%	85.4%	+4.7%	
ADR(円)	11,612	9,780	+1,832	+18.7%	13,125	9,992	+3,133	+31.4%
RevPAR(円)	10,280	8,303	+1,977	+23.8%	11,827	8,530	+3,296	+38.6%
インバウンド比率	57.3%	54.1%	+3.2%		60.0%	55.9%	+4.1%	
<b>中国・四国・九州 (14 ホテル)</b>								
客室稼働率	81.7%	82.1%	-0.4%		84.9%	83.0%	+1.9%	
ADR(円)	10,144	10,535	-391	-3.7%	10,747	10,000	+747	+7.5%
RevPAR(円)	8,288	8,644	-357	-4.1%	9,124	8,301	+823	+9.9%
インバウンド比率	34.4%	38.2%	-3.8%		41.7%	37.9%	+3.8%	

- (注1) 2024年4月時点において運営を開始しており、かつ前月末日時点で運営を継続しているホテルを集計対象としています。前年度の各数値は、2025年3月期より連結対象となった株式会社ミナシアが運営していたホテルの数値を含みます。また、東日本大震災からの復興支援を目的とした社会貢献ホテルの「バリュー・ザ・ホテル」ブランドの4ホテルは集計対象外としております。
- (注2) 客室稼働率:対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。
- (注3) ADR:平均客室販売単価(Average Daily Rate)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計(サービス料を含みます。)を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- (注4) RevPAR:販売可能客室数当たり宿泊部門売上(Revenue Per Available Room)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除した値をいいます。
- (注5) インバウンド比率:一定期間の宿泊者総数に占める外国人宿泊者数の比率をいいます。
- (注6) 客室稼働率、ADR、RevPAR及びインバウンド比率については集計対象ホテルの加重平均値です。
- (注7) 客室稼働率およびインバウンド比率については小数点以下第二位を、ADR及びRevPARについては小数点以下第一位を四捨五入して記載しています。
- (注8) 各エリア名の括弧内に当該エリアに含まれる集計対象ホテル数を記載しています。
- (注9) 上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経していないため、個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではなく、今後修正される可能性がありますのでご注意ください。

(ご参考)

スポンサーであるスターアジアグループに属するスターアジア不動産投資法人が保有し、当社グループが運営するホテルについては、スターアジア不動産投資法人のホームページにおいて、当該ホテルの月次の運営状況が掲載されておりますので当該ウェブサイトをご参照ください。

スターアジア不動産投資法人ホームページ

<https://starasia-reit.com/ja/ir/index.html>

以上